



2018年3月14日

各 位

会 社 名 黒崎播磨株式会社
代表者名 取締役社長 伊倉 信彦
(コード番号：5352 東証1、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員総務人事部長
本田 雅也
(TEL. 093-622-7224)

黒崎播磨グループ 2020 年中期経営計画について

当社は、このたび、2020年度までを実行期間とする「2020年中期経営計画」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

<2020年中期経営計画 概要>

I. 基本方針

- 2019年に創業100周年を迎える中、2020年中期経営計画は、「世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー」の地位を確立する中期計画として立案。
- 国内では、主要顧客向けのシェア増を進めるとともに、大型建設用案件を着実に受注。
- 海外では、インド等の成長市場での拡販、欧米の成熟市場におけるターゲット顧客のシェア拡大を目指す。
- 製造拠点最適化、生産性向上等を通じて、世界最高水準の品質・コスト競争力を確立し、本中期計画の目標利益を確保することにより、事業継続・安定供給のための経営基盤を拡充・強化。

II. 主要施策

- ① 国内外での作業用・建設用耐火物需要の捕捉
 - ・製品とサービスの価値向上によるシェア拡大
 - ・国内建設用案件の着実な捕捉
 - ・コークス炉向け新工法開発・高度化を引き続き推進
 - ・海外成長市場、成熟市場向けに品種別拡販戦略の推進
- ② 耐火物事業での抜本的収益力強化
 - ・メリット投資案件の積極推進
 - ・グループ内商流の簡素化
 - ・生産体制の最適化
 - ・安価・安定供給体制の確立
- ③ 耐火物以外のセグメントにおける収益拡大
 - ・ファーンレス事業
コークス・整備関連における業容拡大。工業炉関連の材工拡販と大型築造工事の継続受注。
 - ・セラミックス事業
半導体業界における需要増に応じたタイムリーな設備投資の実行と海外の継続
燃料電池等断熱関連、宇宙光学等新規分野への販路拡大
- ④ 安全・防災対策と内部統制活動の全社的強化

以上の施策を推進することにより、連結売上高 1,380 億円、連結経常利益 120 億円 (ROS 約 9%) を目指します。

なお、本日開催の取締役会において、当社の配当政策について、株主還元強化の観点から、「業績に応じた利益配分」の指標である連結配当性向を、現行の「25%程度」から「30%程度」に変更いたしました。次期、2019年3月期の剰余金の配当から適用いたします。

以上